

## 平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

### 1. 学校概要

学校名 見附市立新潟小学校

種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  中高一貫教育  高等学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

所在地 〒954-0006  
新潟県見附市新潟町2478番地

E-mail mniigata@mitsuke-ngt.ed.jp

Website http://www.mitsuke-ngt.ed.jp/~mniigata/

児童生徒数 男子 42名 女子 35名 合計 77名  
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

### 3. 活動内容

#### (1) 1年間の主な活動内容について

##### ①地域に伝わる伝統芸能「獅子舞」の継承活動の推進

###### ア 獅子舞保存会の方からの指導と6年生から4年生への継承

校区の小栗山不動院に350年以上前から伝わる獅子舞を平成8年度から学校の教育活動に取り入れ、21年目である。小栗山の獅子舞保存会の方から指導を受け、笛、太鼓、獅子舞、神楽舞の技術を学んでいる。6年生は、秋になると引継式を行い、その後、4年生に学んだことを伝える。指導者や先輩から学んできたことを自分なりに工夫して教え、引き継いでいる。昨年度末には獅子舞クラブ発足20年目を記念して獅子頭や道具が新調され、新たな気持ちで獅子舞の伝統を守り、継承していこうとする意欲をもち、活動に取り組んでいる。

###### イ 獅子舞の調べ学習と全校で学ぶ「獅子の日」の実施

4年生以上は、総合的な学習の時間を中心に、獅子舞の歴史や継承の様子、獅子舞保存会の方の思いなどを調べ、伝統芸能の意味とその継承の大切さを学び、地域に伝える活動を行った。年2回「獅子の日」を設定して、全校で獅子舞について学んだ。獅子舞の歴史や言われを伝えたり、笛、太鼓、獅子に直接触れたりする獅子舞体験を通して、全校児童が獅子舞と関わる取組を大切にしている。

低学年の児童は、獅子舞を実際に見ることと、獅子の日の活動を通して、獅子舞に対する理解と自分も高学年になったら引き継ぐというあこがれの気持ちをもつようになる。また、「教えてもらったとおりに演ずる」日本文化の世界を体験する活動は、他の教科学習では味わうことができない貴重な体験となっている。

###### ウ 伝統を受け継ぎ、外部への発信

次のような発表の場を通して獅子舞の伝統の素晴らしさを伝えている。

「新潟県聴覚障害者大会」(7月)、小栗山不動院の大祭(8月)、地域コミュニティの「ほっと新潟フェスティバル」(10月)、「建国記念の日奉祝式典」(2月)

その他、当校のホームページでも活動や発表の様子を発信している。

##### ② 花と緑とかかわる体験活動

###### ア 全校縦割り班(若葉スターズ)活動による花の世話

花いっぱい運動の一つとして、全校縦割り班で花壇やプランターに花を植え、水やりや草取りなどの世話も班ごとに責任をもって行っている。特に、大型プランターの花は、班ごとに何を植えるか相談し、きれいに見えるように植え方を工夫し、育てている。また、児童環境委員会の児童が中心となって、主体的な活動となるように計画立案し、日常的な世話についても積極的に呼び掛けている。

###### イ 学校の森(「いこいの森」)を生かした体験活動

校舎脇にある「いこいの森」は、子どもたちの遊び場である。森の中を走り回ったり、木登りをしたり、落ち葉や木の実を使って遊んだり、自然に親しみながら楽しんでいる。平成24年度にできたツリーハウスは森のシンボリックな存在でもあり、楽しみの場の一つとなっている。

また、「いこいの森」は理科や生活科、総合的な学習の時間、図工などの学習の場ともなっている。ここにある樹木や草花の観察、枝や木の実、葉などを使った工作は子どもたちの楽しみの一つである。特に今年度は、4年生が総合的な学習の時間で森についての学習を深め、「自分の木」を決めて、その樹木についての探究活動を行った。

「いこいの森」が完成して20周年となることから、11月に、これまで森の整備や学習でお世話になった地域の方を招いて「20周年を祝う会」を開いた。森づくりにかかわってきた方に感謝するとともに、今後も森を大切にしていきたいという気持ちを改めて感じる機会となった。

#### ウ アースプロジェクトで「エコ活動」を地域でも実践

平成22年度から、アースプロジェクトとして、グラウンドの芝生化、グリーンカーテンの設置、太陽光パネルの活用など、緑化、環境教育を積極的に行ってきた。学校だけでなく、保護者、地域を巻き込んだ活動を展開した。たとえば、PTAで、年間2回（6月、2月）、「エコウイーク」を設定し、家族で節水や節電など、環境に優しい取組を行った。文化祭バザーでも、「割り箸」でなく「箸」を使うなど、学校だけでなく、地域と協力してエコ活動に取り組んでいる。子どもたちの活動としては、環境委員会が中心となり、節電や節水を放送やポスターを通して呼び掛けたり、エコキャップ運動を行ったりしている。

#### (2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）